

第16回「Qの会」
研修会報告

平成24年10月28日香川大学において、第16回「Qの会」研修会が開催されました。

今回の研修会は「カーボカウントの基礎と活用」「カーボカウントを用いた栄養指導」のテーマで行いました。

講師に、徳島大学糖尿病臨床研究開発センター黒田暁生先生・徳島大学病院栄養部松村晃子先生をお迎えしました。

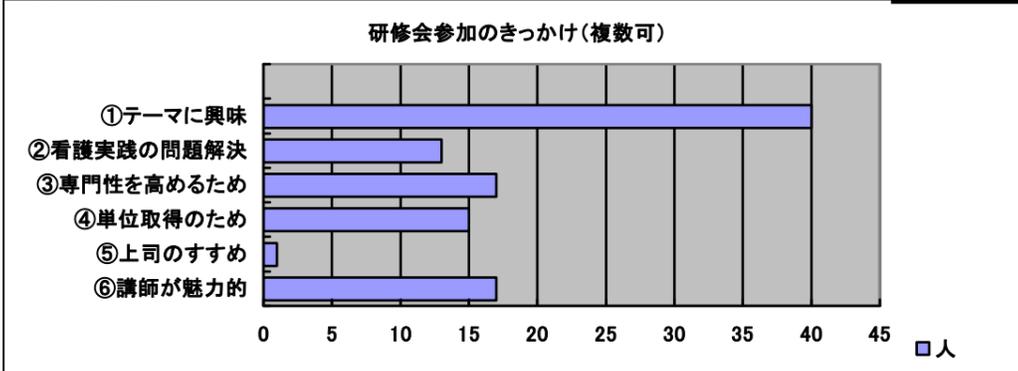
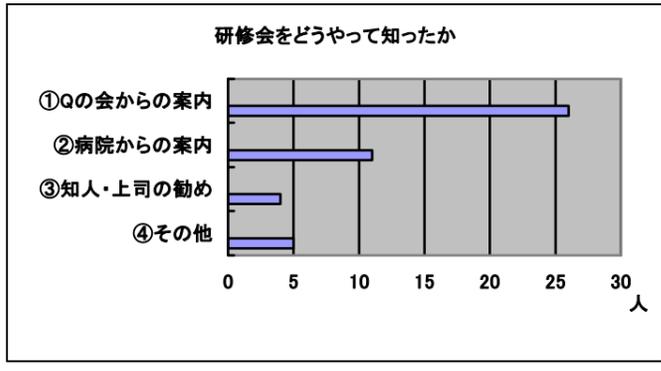


研修会のアンケート結果

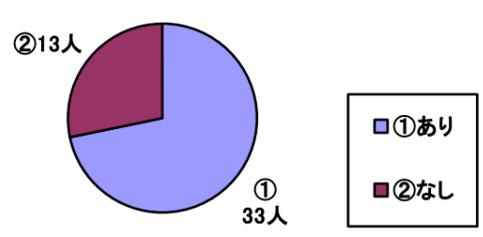
第16回研修会参加者51名のうち46名より回答をいただきました。

参加されたきっかけは「テーマに興味があった」が最も多く、次に「講師が魅力的だったため」「専門性を高めるため」となっています。

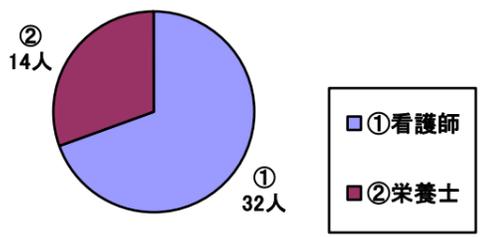
希望は「小児糖尿病」「認知症」「糖尿病とうつ」「1型糖尿病」「癌と糖尿病」「妊娠糖尿病」「糖尿病合併妊娠」「禁煙について」「血糖マネージメント」「糖尿病腎症患者の看護」「透析患者の栄養指導」などがありました。



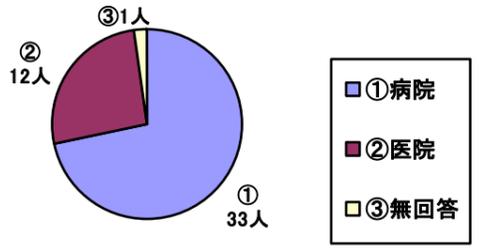
療養指導士の資格



職種



所属



研修会風景

学会・研修会のご案内
認定更新のための研修単位が取得できる予定の研修会をお知らせします。

- ★第56回日本糖尿病学会年次学術集会... 第2群4単位
- ★行列ができるスキルアップ研修会PartIV... 第2群1単位
- ★第25回「糖尿病診療」最新の動向-医師・医療スタッフ向け研修講座... 第2群1単位
- ★第13回「日本糖尿病情報学会年次学術集会」... 第2群2単位
- ★第1回日本糖尿病協会療養指導学術集会

「つれづれに思うこと」・看護の変化

近年の臨床状況の変化とともに看護事情も大きく変わりつつある。入院期間の短縮が病院の生き残り... 慢性疾患の病期の各段階に心じた治療やケアを提供し、その成果を科学的に検証し、よりエビデンスに基づいた質の高い医療を提供するというサイクルを繰り返すことにより、慢性疾患全体の発症、進行・悪化、重症化を抑える医療提供システムづくりを目指している。質の高い医療を提供し、慢性疾患にかかる医療費の削減という社会的ニーズに対応していくためには、こうした現状の看護を変革していく力が求められている。

また、教育現場では、医学的知識と技術を看護ケアに融合したより高い実践能力を具えた高度実践看護師教育プログラムが導入されようとしている。さらに、その修了後に進学できる博士の教育プログラム(DNP)が導入されつつある。高度実践看護師やDNPが現場において活動する日はそう遠くない。おそらく専門看護師と同様の勢いで広がっていくだろう。

第17回「Qの会」研修会・平成25年度総会のご案内
日時：6月23日(日) 10時から16時30分
場所：香川大学医学部看護学科3階305教室 (看護学科棟3階)
メインテーマ 『認知症と糖尿病看護・患者の理解とケア』
講師：香川大学付属病院 精神・神経科 病院助教 森 崇洋先生
東明介護支援センター 介護支援専門員・看護師 三好真寿先生
香川県立白鳥病院 認知症看護認定看護師 藤井智子先生

◆編集後記：寒い冬も過ぎ、また総会の時期です。Qの会発足し約9年の月日が経ちました。初心を忘れず発展していければ良いなあと思っています。
広報担当 木村裕美・串田久美